



兵庫県美
ボーダレス
アートトーク

連続講演会シリーズ第3回

〈美術 × 演劇〉

やなぎみわ

(美術家・舞台演出家)

すべては個々に分散する。

すべてはひとつに戻る。

現代美術と野外劇という対極の表現。

野外劇「日輪の翼」(2017) 企画演出 / やなぎみわ 原作 / 中上健次 ©bozzo

現代社会において「美術」の創造性はどのような拡がりの可能性を秘めているのか — 兵庫県立美術館は、そのような視座から、「美術」にルーツを持ちながらも美術以外のジャンルで国際的に活躍している兵庫ゆかりのクリエイターによる連続講演会を開催しています。その最終回は、美術家・舞台演出家のやなぎみわさん。美術家として 2009 年ヴェネチア・ビエンナーレの日本館代表に選ばれたやなぎさんは、2011年から本格的に演劇活動を開始。各地で移動舞台トレーラーによる野外演劇を展開し、2019年のアート・プロジェクト KOBE 2019 : TRANS- では兵庫の海を舞台にした野外劇に挑みます。「美術」と「舞台」という二つの分野を往復するやなぎさんに自らの創作について語っていただくとともに、当館の養館長とともに「美術」の創造性について、考える場とします。

開催日時 2019年3月2日(土) 14時から(約90分) 入場は30分前から

開催場所 兵庫県立美術館 ミュージアムホール

参加料 無料(要事前申し込み、先着250名まで)

申込方法 1月31日(木)10:00より兵庫県立美術館ホームページ内の「ボーダレスアートトーク」

専用申し込みフォームから申込。受付完了後、確認メールを自動送信します。

*申し込み締切となった場合は、ホームページでその旨を告知します。

主催 兵庫県立美術館、兵庫県立美術館ギャラリー棟活性化実行委員会

問合せ先 兵庫県立美術館 営業・広報グループ TEL 078-262-0905

やなぎみわ

神戸市生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。学生時代は工芸を専攻。国内外で多くの展覧会を開催し、2009年第53回「ヴェネツィア・ビエンナーレ」美術展日本館代表作家となる。11年から本格的に演劇活動を始め、美術館や劇場で公演した後、15年『ゼロ・アワー東京ローズ最後のテープ』で北米ツアー。16年夏より台湾製の移動舞台トレーラーによる野外演劇『日輪の翼』(中上健次原作)を、熊野をはじめ各地で旅巡業している。2019年2月より、10年ぶりの美術館個展が全国巡回する。

